

8 第9講 ジェンダーギャップ

1. 日本の男女格差

1) ジェンダーとセックス

ジェンダーもセックスも性のことだが、意味は異なる。ただし英語の論文では生物学的性の意味でジェンダーを使っている例が見られる。

セックス sex 生物学的性別 ジェンダー gender 文化的性差、単語の性

性差：ジェンダーとセックスの違い 国際平和協力本部事務局 PKO 与那嶺涼子 (2011)

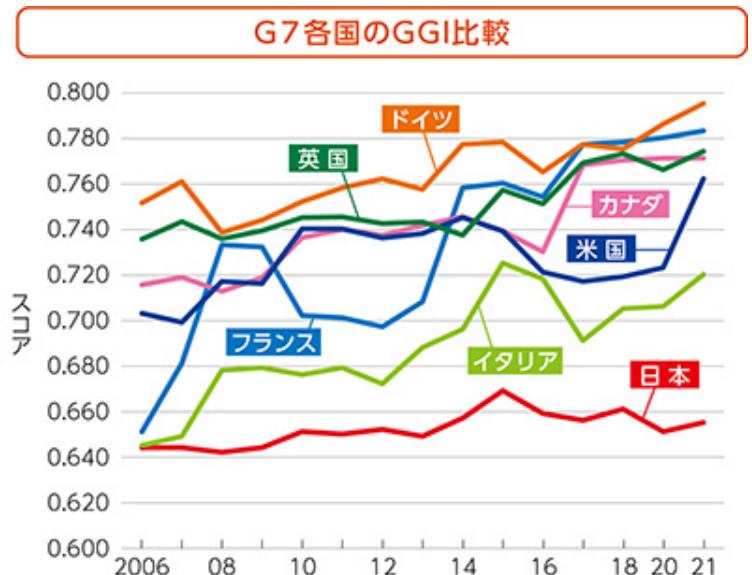
内閣府サイトに再掲 https://www.cao.go.jp/pko/pko_j/organization/researcher/atpkonow/article070.html

[shogai2025_9-2.pdf](#)

果たして生物学的な特性がその人の社会的な役割や職業の向き・不向きまで「自然」のことだと正当化、あるいは、一般化できるものなのでしょうか？ と問いかける。職業の向き不向きは時代によって変わる。昔はトラックの運転手はごつい男の仕事だった。並みの男ではできない。パワステがなく、荷物の積み卸しも人手に頼った力仕事だったから。

2) 世界最低水準の日本の男女格差

毎年、世界経済フォーラム（ダボス会議）が発表する「ジェンダー・ギャップ指数 The Global Gender Gap Index (GGGI)」で日本は毎回OECD諸国で最低。世界的に見ても相当下位にある。指数は、経済、教育、健康、政治の4分野から作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味する。2021年の日本の総合スコアは0.656、120/156か国（前年121/153）、経済0.604、政治0.061、教育0.983、健康0.973と経済や政治で低く、とくに政治は147位（前年144）でワースト10、女性比率は国会議員9.9%、



「共同参画」2021年5月号 | 内閣府男女共同参画局

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/202105_05.html

管理職14.7%、パートタイムの割合は男性の2倍、平均所得は男性より43.7%低い。

女性の参画が目立って低いのは政治と経済の分野。言い換えれば、物事の決定権と発言力の源泉で弱い。これだけ男尊女卑が根強い民主主義国家、先進国は日本と韓国だけである。それでも韓国は女性大統領が実現した。ということで日本が世界最低なのは明白な事実。

3) 男女格差の解消の必要性

ジェンダーギャップの解消は女性の基本的な人権の獲得として当然であるが、既存の習慣で利益を得ている高齢男性にとっても実利的な利益がある。少子化時代であり、機会を奪われてきた人口の半数を占める女性に役割を果たしてもらふ必要があること、地方定住を進めるには保守的な風土＝高齢男性優位なしきたりをやめる必要があること、など。

2. 世界と日本の取組

1) 日本の特殊性

客観的に見て日本の女性は悪い状況にある。政府はいろいろやっていますよと宣伝する。では、国連での評価や取組は国内のメディアは十分に報じているだろうか。

日本の夫婦同姓・マタハラ…女性差別撤廃、国連委が勧告（朝日新聞 2016.3.8） [Shogai2025_9-3.pdf](#)

「男女が同じ選択肢を」夫婦同姓、国連は改善勧告（WOMAN SMART | NIKKEI STYLE 2016.3.26）

法務省：我が国における氏の制度の変遷 夫婦同姓は明治から <http://www.moj.go.jp/MINJI/minji36-02.html>

法務省：選択的夫婦別氏制度（いわゆる選択的夫婦別姓制度）について

<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji36.html>

国会同弁「法律で夫婦の姓を同姓とするように義務付けている国」は、我が国のほかには承知していない。

<https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/syuisyo/189/touh/t189321.htm>

2) 国連女性機関（UN Women）の取組「HeForShe」

<https://www.heforshe.org>

HeForSheはジェンダー平等のための運動で映画ハリポッターに出演していたエマ・ワトソンが親善大使を務める。「ジェンダー平等への取り組みは、かつては女性だけによる女性のための取り組みとして認識されてきました。しかし、ジェンダー平等は女性の問題というだけでなく、全人類が関わる人権の問題です」と取組の意義を説く。

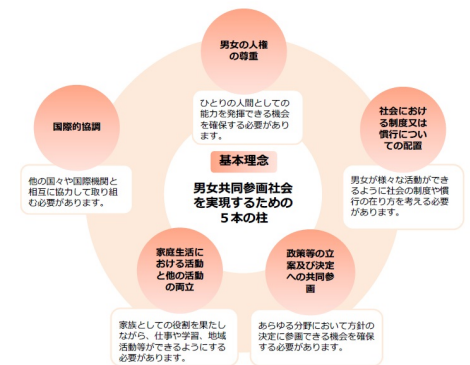


日本語サイト <https://japan.unwomen.org/ja/heforshe>

Emma Watson HeForShe Second Year Anniversary Remarks https://www.youtube.com/watch?v=N6AK6tN2P-o&feature=emb_logo

3) 日本政府の取組

日本では1986（昭和61）年に施行された男女雇用機会均等法が現在の行政の取組の始まり。その後、1997（平成9）年に事業主の努力義務であった採用や昇進での男女平等が差別的取扱いの禁止に改正された。これによって看護婦や看護師のような性別付き資格は看護師に統一され、保母やスチュワーデスといった性別付き呼称も撤廃された。
政府は男女同権や男女平等は絶対に使わない
1999年には男女共同参画社会基本法が制定施行、1994年に内閣府（当時は総理大臣官房）に男女共同参画局を置き、男女平等への取組を進めている。



「男女共同参画社会」って何だろう？ | 内閣府男女共同参画局 https://www.gender.go.jp/about_danjo/society/index.html

教育サイドでは1977（昭和52）年に文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設立され、全国の自治体にも同様の社会教育施設が作られた。2001（平成13）年に国立女性教育会館に改名。

国立女性教育会館 <https://www.nwec.go.jp> 歴史は「沿革」を見る [NWECとは>NWECについて>沿革](#)

ところで「男女共同参画社会」という長ったらしくごちない言葉は何なのだろう。「男女平等」や「男女同権」ではダメなのか。意図した言い換えだとしたら、その目的はどこにあるのだろう。

4) 研究者の取組

女性研究者の貢献は男性に比べ低く見られることがある。そのようなバイアスが「マチルダ効果」として知られる。たとえば同じ論文の評価でも、名前を伏せた場合、男性名の場合、女性名の場合では異なり、女性名だと低く評価される。これは「マチルダ効果」として知られている。研究者の世界は狭く、徒弟制度が残り、セクハラが横行しやすい環境にある。余談だが、アメリカだと金髪や胸が大きいと頭が悪く思われる

といい、映画の人物像がそのように描かれてきたらしい。

過小評価続く女性研究者 米国でもマチルダ効果歴然（鳥居啓子 2016） | SciencePortal

https://scienceportal.jst.go.jp/columns/opinion/20160125_01.html

シンポジウム女性研究者と共に創る未来（2018.4.14） <http://www.jst.go.jp/diversity/activity/seminar/seminar04.html>

京都大学野生動物研究センター女子ワイルドライフ・サイエンティスト養成講座 <https://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/girls-wildlife/index.html>

3. 男尊女卑を支える思想

1) 儒教 Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%84%92%E6%95%99>

儒教とは2500年前の孔子 [こうし] を祖とする中国の古典思想で東アジアに広まり、日本と韓国では現在も強い影響力下にある。日本では日常の規律やしつけ、行動規範として浸透し、学校の道徳は儒教の近代版ともいえる。徳川幕府は公式学問として儒教の一派である朱子学を取り入れた。日本の国立博物館の祖とされる博覧会も孔子を祀 [まつ] る孔子廟の湯島聖堂で始まった。

儒教は儒学の教えであり、儒学は個人の道徳的精神と法によらない道徳による政治である徳治主義を重んずる（デジタル大辞林）。これは現代の東アジア（日中韓）の政治にも生きている。儒教は近代の学校にも影響を与えている。児童生徒が教室清掃をするのは儒教文化圏である日本や韓国などに限られるという（加地伸行 1990「儒教とは何か」）。明治政府は始め学校教育から儒教を排除したが結局は教育勅語に忠孝思想が取り入れられた（Wikipedia 日本の儒教）。部活の先輩後輩関係も会社の上司部下関係も忠の現れともいえる。儒教的「しきたり」が男尊女卑の役割分担が再生産される下地となっているのかも知れない。女性大統領に象徴されるように男女同権では韓国が日本より先を行く部分がある。

韓国における取組と日本への示唆 http://www.gender.go.jp/research/kenkyu/sekkyoku/pdf/senmonsyoku/14_ch3-2.pdf

報告書の全体は「諸外国における専門職への女性の参画に関する調査—スウェーデン、韓国、スペイン、アメリカ合衆国」（2009.11） <http://www.gender.go.jp/research/kenkyu/sekkyoku/h23shogaikoku.html>

2) 家父長制

家父長制とは「家長が、家長権に基づいて家族員を支配し、服従させる家族形態」（デジタル大辞林）で、明治から戦前までの日本は、民法が戸主権という名称で家長権を保障する家父長制を制度化していた。敗戦で家制度そのものは廃止されたが、戸籍筆頭者や世帯主という形で生き残っている。

「なぜ世帯主？」新型コロナ10万円給付に抱いた「大きな疑問」現代ビジネス <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/72063>

新型コロナ 1人10万円は世帯主に一括給付 「DV被害者に届かない」指摘相次ぐ | 毎日新聞

[Shogai2025_9-4.pdf https://mainichi.jp/articles/20200423/k00/00m/040/103000c](https://mainichi.jp/articles/20200423/k00/00m/040/103000c)

（ここからは個人的考察）戸長や家制度は家族が生産の単位であった頃には意味があった。家族は中小企業で社長が必要だったから。現在、家族の役割は生活となり、家族よりも個人を重視する考えや行動が普及する。他方、農家は現在も家族が生産の単位であり、実質的な家長＝高齢男性が大きな裁量権を握っている。日本は国や組織での男女同権と家族内での平等の両面に課題を抱えている。

3) 宗教

キリスト教：聖職者の呼び名はパパ、男（アダム）のあばら骨から女（イブ）が作られた（創世記第2章第22項）

イスラム教：男は女の擁護者である。一夫多妻

仏教：女は仏になれない、なるには男に変身してから

時代とともに解釈は変化するも、世界宗教やヒンズー教には男尊女卑の記述や傾向が存在する

4. 高市早苗首相が誕生して

1) 基礎情報

高市早苗（たかいち・さなえ） 衆議院議員、自由民主党総裁、1961年生まれ（64歳）、奈良県出身、神戸大学経営学部卒業、夫は元衆議院議員の山本拓 <https://ja.wikipedia.org/wiki/高市早苗>

2) 報道から 女性首相は歓迎、思想には懸念

【高市早苗氏が首相選出】G7では5番目の女性トップ。1～4番目の顔ぶれは？

<https://www.buzzfeed.com/jp/kenjiando/g7-first-female-top>

論点：女性首脳 世界の視点 | 毎日新聞 [Shogai2025_9-5.pdf](#)

<https://mainichi.jp/articles/20251031/ddm/004/070/011000c>

【解説】初の女性首相誕生という歴史的瞬間、ただし高市氏の理念に懸念も - BBCニュース

<https://www.bbc.com/japanese/articles/c15pql8vxgzo>

初の女性首相「大きな一歩」 社会進出の後押し、高市氏に期待—ジェンダー平等1位のアイスランド議

員：時事ドットコム <https://www.jiji.com/jc/article?k=2025102400654&g=int>

高市氏「ガラスの天井」破り初の女性首相…女性の政治参画の転換点に / 読売新聞

<https://www.yomiuri.co.jp/otekomachi/20251022-OYT8T50001/>

3) 海外の女性首脳

相当数の国が女性首脳を経験

世界の女性首脳はどのように報道されているのか - ESG-IREC <https://esg-irec.jp/female-leaders/>

第2次大戦後、80カ国超で誕生 女性の大統領・首相：時事ドットコム

https://www.jiji.com/jc/article?k=2025102100785&g=int#goog_rewarded

「女性大臣の日」におさらい！世界の女性リーダー【2022年最新編】

<https://www.elle.com/jp/culture/career/g40565660/female-leaders-2207/>

【2024年女性大臣の日】リーダーシップを発揮して、世界をけん引する注目の女性たち

<https://www.elle.com/jp/culture/career/g61246059/minister-ladies-240718-hns/>

【レポート3】

課題：本学部で学ぶ女子学生が増加する方策を提案する

次の内容を含むこと：1) 現状、2) 現状の分析、3) 目標、4) 目標実現への過程、5) 目標実現の効果

提出方法：農大メールの本文として記述する。ファイルの添付や共有は不可。また、次の約束を守ること。

件名：生涯学習レポート3 [3は全角]

本文1行目：学科、学籍番号（半角）、氏名 区切りは全角ピリオド「.」か空白を推奨

2行目：タイトル。内容を簡潔に確実に現すように

3行目以降：本文は3行目から書く。文字数2000字まで。

提出期限：12月2日（火）。遅れた場合は受け取らない。授業での共有や投影、学内関係者に回覧するので不可の場合はそれぞれ明記する。